

行政提案型協働事業

1 事業名称	～自分や家族の安心のために～ 今から考える葬儀・相続								
2 現状課題	<p>近年来、単身者の増加、地縁や血縁関係の希薄化等により、生前における生活支援、意思決定に支援を要する世帯が増加していることは勿論のこと、死後において「葬儀は誰がする？納骨はどうする？その費用は？」といった課題に直面するケースが増加しています。</p> <p>自身や家族等の「死後」の問題について、「対応方法を知らない、どう準備したらよいかわからない、費用が用意できない」などの理由により、早くから考え、備えが出来ている人が少ないのが現実です。</p> <p>こうした中、市民の将来の不安を解消し、老後を安心して過ごせるよう、身寄りの無い高齢者等への支援のあり方について、国において検討が進められており、民間事業者等と連携して、終活支援に関する事業を開始する自治体も増加傾向にあります。</p> <p>本市では、施策の基本方針として、「長浜での暮らしを選択」してもらえるよう、自身や家族の将来に影響を与えるような大きな変化があるライフステージにおける事業の検討を進めていますが、中高年層を始め、あらゆる世代に対し、誰もが避けることができない、「死後・老後」のことを「自分事」として感じ、考えてもらえるような機会を増やすこと、終活支援のあり方の検討が求められています。</p>								
3 事業内容	<p>様々なノウハウや経験を持った人材を有する民間団体と市が連携し、終活等の認知度を高めるようなイベントや講座等を実施することで、市民の将来の安心のためにできることを模索していきます。</p>								
4 役割分担	<p>団体の担う役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政がノウハウを持たない事業（イベント、講座会）の実施 ・ 効果的な周知広報、動機付け、枠組みの提案 <p>市の担う役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体が企画する事業の効果が最大化するような支援（庁内外事業、団体との連携調整、周知広報） ・ 市としての、終活支援（終身サポート）のあり方の検討 								
5 概算事業費	<p>500,000円（市の補助額 400,000円）</p> <p>【内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>報償費</td> <td>300,000円（講師謝金 等）</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>120,000円（チラシ印刷、事業用品 等）</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>40,000円（会場借上げ費用 等）</td> </tr> <tr> <td>通信費</td> <td>40,000円（通知発送 等）</td> </tr> </table>	報償費	300,000円（講師謝金 等）	消耗品費	120,000円（チラシ印刷、事業用品 等）	事業費	40,000円（会場借上げ費用 等）	通信費	40,000円（通知発送 等）
報償費	300,000円（講師謝金 等）								
消耗品費	120,000円（チラシ印刷、事業用品 等）								
事業費	40,000円（会場借上げ費用 等）								
通信費	40,000円（通知発送 等）								
6 担当部署	健康福祉部 長寿推進課								